

## 第一生命経済研究所のホームページご紹介

アドレス：<http://group.dai-ichi-life.co.jp/cgi-bin/dlri/top.cgi>（「第一生命経済研究所」で検索可能）  
ホームページに登場したレポートテーマの一例をご紹介します。このほか数多くの詳細な経済分析レポートが掲載されていますので、経済研レポートと併せてご活用ください。

～グローバル化の圧力を受ける国内の産業、雇用者の就労環境の課題について分析しています。

2010/11/1 「加速する産業空洞化の影響 ～需要抑制を通じたデフレ圧力に～」

2010/11/1 「2010 年年末賞与予測 ～年末賞与は前年比+1.5%を予想～」

2010/10/14 「就労か出産か厳しい選択を迫られる正規雇用女性 ～女性の高学歴化が女性の社会進出を阻む矛盾～」

掲載カテゴリ：日本経済分析チームによる「日本経済の羅針盤」

～激動する世界の金融市場動向を毎週お知らせします。

2010/11/15 「Market Watching Weekly Market Report」（毎週月曜日配信）

掲載カテゴリ：鳥峰義清の「マーケットウォッチング」

～ドル安円高の背景と今後、暮らしに豊かさが実感されにくくなった背景を給与面から分析します。

2010/11/4 「QE 2 決定後の為替動向 ～金融緩和に対する米長期金利の感応度次第～」

2010/11/2 「なぜ、家計は貧しくなったか(給与所得者編)～報酬還元の不全、賞与は削減され、労働時間は延長～」

掲載カテゴリ：熊野英生の「金融市場の謎を解く」

～金融緩和政策を進める米国、財政規律重視の欧州、成長続くアジアについて解説しています。

2010/11/3 「米国 2011 年 6 月末までの総額 6000 億ドルの長期国債購入を決定（10 年 11 月 2、3 日 FOMC）～必要に応じて購入ペースや規模を見直す方針も表明～」

2010/10/26 「欧州 財政再建が景気に与える影響を考える ～期待に働きかける効果が顕在化する条件は整っていない～」

2010/10/21 「中国経済事情：7－9 月期の景気は予想外の強さ ～19 日の緊急利上げで物価上昇に対処。為替政策の柔軟化には新たな疑問～」

掲載カテゴリ：桂畑誠治・田中理の「欧米経済を探る」、「アジア・新興諸国経済」

### 編集後記

私ども生命保険グループには、職員の希望する別の部署で短期間仕事を体験する、社内トレーニーという制度がある。先日、私どものオフィスにも日常生命保険の業務を担当している職員が数名ずつ二組に分かれてやってきた。もちろん彼らとエコノミストたちが共に過ごした短い期間中に出来ることは限られる。しかし、互いに仕事を理解し、日頃の課題や問題意識をもってディスカッションする機会は持つことができた。

毎朝トレーニー達と一緒に経済新聞を読んでみると、さまざまな質問が飛んでくる。自分では分かっているつもりなことでも、そうでないことがいくつもあるのに気づく。なぜ円高が続くのか、というテーマもあった。仕事柄、経済の話題を聞きかじっている者同士の会話では、かえってじっくり考え直すきっかけはない。「ドル安が原因だから打つ手がない」「日米の実質金利差が縮むと、円高が進む」という理屈も先入観を持たない聞き手にとって理解は難しい。素直に疑問に思うことは大切かもしれない。（H. U）